

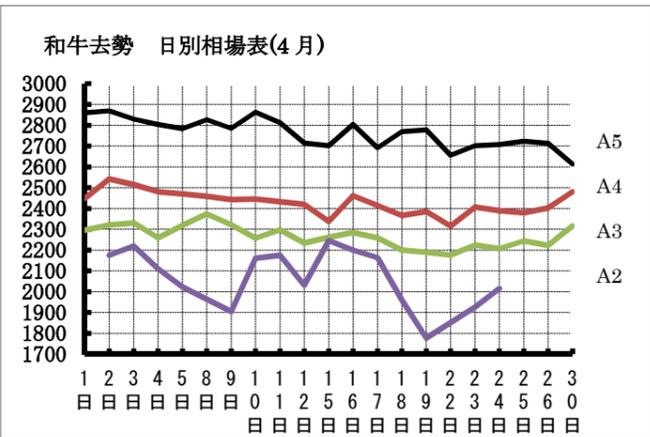
# 月刊しばうら

2019年 5月号

## 大動物事業部

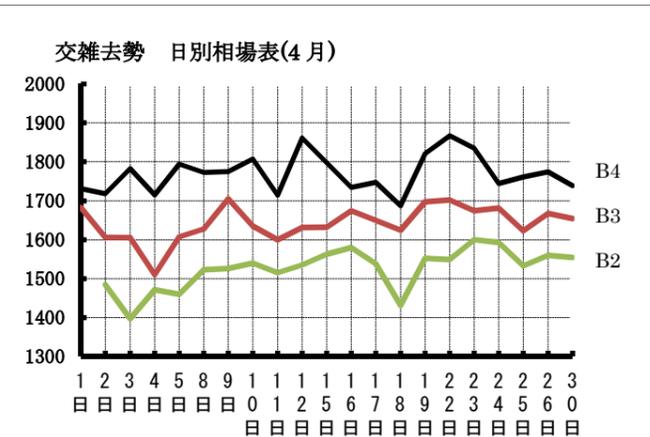
### <4月の相場動向>

和牛去勢 A5 が前月比 35 円安の 2,765 円（前年同月比 67 円安）、A4 が同 43 円安の 2,433 円（同 48 円安）、A3 が同 16 円安の 2,262 円（同 105 円高）、A2 が同 12 円安の 2,032 円（同 100 円高）となり、交雑牛去勢は B4 が 39 円高の 1,764 円（同 72 円高）、B3 が同 29 円高の 1,642 円（同 148 円高）、B2 が同 36 円高の 1,531 円（同 242 円高）、乳牛去勢は B2 で 78 円高の 1,062 円（同 34 円高）となった。生体上場頭数は 8,304 頭で前月より 1,300 頭増、うち和牛が 1,100 頭程多く春先需要、GW 需要を期待しての出荷量の多さもあり、中旬以降は強い引き合いも見られず軟調な相場となった。交雑牛は大きな崩れもなく堅調な相場が続いた。



和牛去勢（月平均）

A5	2,765 円	（前年同月比 97.6%）	（前月比 98.8%）
A4	2,433 円	（ " 98.1%）	（ " 98.3%）
A3	2,262 円	（ " 104.9%）	（ " 99.3%）
A2	2,032 円	（ " 105.2%）	（ " 99.4%）



交雑去勢（月平均）

B4	1,764 円	（前年同月比 104.3%）	（前月比 102.3%）
B3	1,642 円	（ " 108.7%）	（ " 101.8%）
B2	1,531 円	（ " 118.8%）	（ " 102.4%）

乳牛去勢（月平均）

B3	上場なし		
B2	1,062 円	（前年同月比 107.8%）	（前月比 103.3%）

### <5月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績によると、3月の輸入量は前年比 12.4%減の 3 万 9,223 t で、うちチルドは 0.2%増の 2 万 2,416 t、フローズンは 25.0%減の 1 万 6,807 t となっている。チルドは豪州の船積みが少ないことなどで、ほぼ前年並み。フローズンは、年度 SG 回避に向けて各社の通関量を抑制したことや、TPP11 協定国では 4 月に関税率が下がることで大きく減少し、2 万 t を割る数量となっている。結果的に年度 SG 発動は回避された。農畜産業振興機構の予測による 5 月の牛肉輸入数量は、前年比 7.3%減の 5 万 200t。チルドは、7.6%減の 2 万 3,000t、フローズンは、6.9%減の 2 万 7,200 t で連休明けの需要減退などの影響などから、前年同月を大きく下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		3月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	9,419	9,980	94.4%
	米国	11,553	11,342	101.9%
	その他	1,444	1,050	137.5%
	合計	22,416	22,372	100.2%
フローズン	豪州	9,082	16,553	54.9%
	米国	4,926	3,331	147.9%
	その他	2,799	2,525	110.9%
	合計	16,807	22,409	75.0%

単位：t 出典：食肉速報

### <5月の全国出荷頭数予測>

2018 年 3 月末の牛の全国飼養頭数は前年同月比 0.1%増の 386 万頭とほぼ前年並みの頭数で、17 年 3 月以降微増で推移し続けている。黒毛和種がやや増加する半面、交雑種・ホル種の減少で相殺されるパターンが続いている。黒毛和種が 1%台強の増加が続く一方で、17 年 10 月までは増加基調をたどっていた交雑種は、同年 12 月に昨対割れに転じて以降、16 カ月連続でマイナス継続となり、ホル種も構造的な資源不足となっている。農畜産業振興機構による 5 月の出荷予測頭数は、全体で前年比 0.5%減の 8 万 2,700 頭と予測。品種別にみると和牛は 3.9%増の 3 万 5,700 頭、交雑種は 4.2%減の 1 万 9,300 頭、乳用種は 3.0%減の 2 万 6,400 頭と予測している。東京食肉市場の 5 月のと畜頭数は 6,600 頭を予定しています。

### <5月の牛枝肉相場見通し>

長期連休明けとなるため、上旬は補充買いなどで活発な相場が予測される。ただし、末端の消費動向は春先の催事行事や連休の出費などで、より安価な物への動きが予測され和牛相場は中旬以降、基調は徐々に弱まると見込まれる。また、時期的には焼き材部位の需要が強まる時期でもあり、和牛に比べ値ごろ感のある交雑、乳牛については需給がタイトであるため、引き続き堅調な相場展開が続くと思われる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,700~2,800	B4	1,700~1,750
A4	2,400~2,500	B3	1,550~1,600
A3	2,250~2,350	B2	1,450~1,500
A2	2,000~2,100		
乳牛去勢			
B3	1,100~1,150		
B2	950~1,050		

## 小動物事業部

3月の全国と畜頭数は、前年同月比 5.5%減の 133 万 9,198 頭と前年より減少した。また、3月の豚肉通関数量は、6 万 8,653t（前年同月比 11.8%減）と前年を下回り、前月比も 16.0%減となった。内訳はチルドが 3 万 4,135 t で前年同月並みとなったが、フローズンは TPP11 や日 EU・EPA が 2 年目の税率に引き下がることを見越して通関を先送りしたことにより 3 万 4,518 t（21.0%減）と大幅に減少した。

2018-2019 年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
1	77,568	74,247	16,549	160,209	77,928	67,918
2	71,805	67,889	17,111	164,705	71,194	63,393
3	78,201	77,785	20,474	160,500	74,791	81,990
4	75,496	80,144	18,753	159,213	77,128	81,431
5	76,152	80,227	19,021	161,265	75,842	78,175
6	69,573	76,677	17,434	161,087	71,104	76,855
7	68,709	78,084	17,332	158,705	68,762	80,466
8	70,135	79,654	18,182	157,848	69,223	80,511
9	67,675	68,972	18,048	149,511	67,772	77,309
10	82,053	83,979	18,178	147,729	81,863	85,761
11	82,254	83,346	18,435	144,982	81,925	86,093
12	79,338	73,146	19,394	140,967	78,307	77,161
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
2	72,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
比	101%	120%	116%	89%	102%	124%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：トン、%

3月豚肉通関実績						単位：トン、%		
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比			
アメリカ	18,721	101.6	デンマーク	5,384	59.6			
カナダ	14,418	97.7	スペイン	8,028	80.4			
メキシコ	922	103.7	メキシコ	5,060	78.9			
			アメリカ	3,844	81.5			
			カナダ	2,346	91.5			
合計	34,135	100.0		34,518	79.0			

### <4月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	61,500	468	461	728
2日	62,300	518	500	902
3日	61,400	531	482	732
4日	63,900	548	502	783
5日	62,600	542	495	949
8日	62,900	503	486	777
9日	65,100	518	491	773
平均	62,814/日			806/日

全国と畜頭数は 6 万頭前半が続く中、月初の手当により相場は上昇傾向となった。中部地方での豚コレラに加え、関東南部での PED による影響で出荷頭数は予想を下回っている。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10日	62,900	524	481	748
11日	65,900	494	466	793
12日	62,400	487	461	843
15日	63,600	478	462	633
16日	65,600	502	491	873
17日	62,000	514	474	768
18日	65,600	535	479	746
平均	64,000/日			772/日

全体的に荷動きは堅調な状況となり輸入物の需給が締まっていることもあり、ロースやヒレなどロイン系の引き合いは徐々に強まっている。また、バラ、モモの荷動きは良

化傾向となっているがウデの荷動きは引き続き鈍い状況が続いている。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
19日	65,300	539	503	986
22日	65,100	514	495	794
23日	67,100	561	550	980
24日	67,200	587	563	798
25日	71,000	591	573	861
26日	67,600	598	596	1,036
30日		655	614	1,180
平均	67,216/日			948/日

GW に向けた手当はピークを迎え、徐々に引き合いは強まった展開となった。ロイン系の荷動きは落ちてきているがバラは輸入物の価格が上昇傾向にあることから、国産の引き合いが強まった。

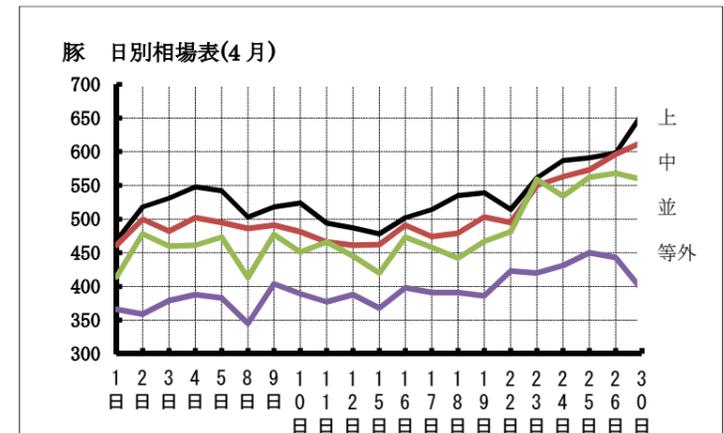
### <5月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による 5 月の全国と畜頭数予測では、前年をわずかに下回る 131 万 9,000 頭（前年同月比 4.5%減）と予測している。当市場の 5 月の集荷予定頭数は 1 万 6,000 頭、1 日あたりでは約 842 頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると 5 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 6,800 トン（同 95.7%）、内訳はチルドが 3 万 2,200 トン（同 95.5%）、フローズンは 4 万 4,600 トン（同 95.9%）と前年同月をやや下回る予測。

今年の GW は異例の大型連休となり、外食店などは行楽需要により盛り上がりを見せたようだ。しかし、5 月の末端需要はその反動から買い控えも懸念されることや需要の端境期に入っていくことからスソ物の需要は強いものの、ロース、カタロースは落ち着く展開となりそうだ。輸入チルドは、中国の需要により 5 月入荷分からコストも上昇しているため、国産の相場次第では需要が国産へとシフトされることも予想される。

以上のことから当市場の上物平均価格は 550 円前後、中物平均価格 520 円前後の展開と予測する。



### 出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19  
 東京食肉市場株式会社  
 TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127  
 URL http://www.tmmc.co.jp/